

平成30年 吉野町議会役員改選

議長 野木康司氏 副議長 中西利彦氏

◇議会運営委員会委員・常任委員会委員等(敬称略)

議会運営委員会

委員長	中西利彦
副委員長	山本隆敏
委員	議員全員

常任委員会

◎総務委員会

委員長	山本隆敏
副委員長	山本義史
委員	議員全員

◎産業建設委員会

委員長	西澤巧平
副委員長	下中一平
委員	議員全員

◎文教厚生委員会

委員長	藪坂眞佐
副委員長	山本義史
委員	議員全員

特別委員会

◎予算決算特別委員会

委員長	中井章太
副委員長	下中一平
委員	議員全員

◎吉野広域行政組合議会議員	中井章太	山本隆敏	中西利彦	西澤巧平
◎南和広域医療企業団議会議員	中井章太			
◎さくら広域環境衛生組合議会議員※	中西利彦	西澤巧平		
◎監査委員	中井章太	木村利己		

◎人権施策協議会委員	下中一平	中西利彦		
◎町営住宅入居者選考委員会委員	山本隆敏	藪坂眞佐	西澤巧平	
◎町営賃貸住宅並びに賃貸施設入居者選考審議会委員	山本隆敏	藪坂眞佐	西澤巧平	
◎吉野町定住促進住宅審議会委員	山本隆敏	藪坂眞佐	西澤巧平	
◎都市計画審議会委員	下中一平	山本義史	野木康司	藪坂眞佐
◎三町村広域行政推進協議会委員	野木康司	中西利彦	西澤巧平	
◎環境美化推進委員	下中一平	山本義史		

※前年より引き続き

第25回 有線テレビ放送番組審議会 2月16日開催

この審議会は、町長の諮問に応じ、有線テレビの自主放送番組基準に基づき、放送番組を調査・審議し、町長に対して答申することを任務としています。

吉野町有線テレビ放送番組審議会委員

会長	町議会代表	中西利彦
副会長	区長連合会代表	井上幸次郎
委員	商工会代表	中井神一
	校長会代表	藤井登志男
	地域づくり団体代表	松尾吉晃
	有識者	磯崎典央
	吉野町	北谷隆範

(順不同・敬称略)

この日の審議会では、CVYの自主放送番組について、「吉野の地場産業の現状や、吉野の良さをPRしてほしい」という昨年の提案が番組に反映されてよかった」「新番組の『みんなの広報ぐるっと読み』は親しみやすい」という意見や、「吉野町が取り組んでいる新しい施策を広報してほしい」等の提案が出されました。

期待に添える番組づくりのため、視聴者の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。ご協力を宜しくお願いいたします。



～木とふれあい、木に学び、木と生きる～



木育カフェライブラリー 『本の森』

2月11日の上市初市に町中央公民館前にある「木育工房 esora」で、『本の森』をテーマに“木育カフェライブラリー”を開催しました。地域の人たちからお寄せ頂いた本を利用した「手づくり図書館」の活動を支援する地域おこし協力隊と、「木育」の取組を支援する協力隊員で共同企画したものです。

木の本100冊

木や森など自然に関する絵本から専門書、図鑑、小説など、100冊集めて、自由に手にとってもらえる空間を作りました。

「いろんな木」「ようこそ森へ」「山へいこう」「木とくらす」「つくってあそぼう」など8つのテーマごとに展示されたコーナーを前に、訪れた方が「こんなにたくさん『木』のことを書いた本ってあるんだ」「この本、木のこと詳しく書かれていておもしろい!」「この本小学校の時に読んだことがあって、懐かしい」など、各々気に入った本を手にとっていました。絵本を読み聞かせ楽しむ親子や、お母さんと女の子がしおり作りを体験している横で、コーヒーを飲みながらじっくりと木工の本を読んでいるお父さんなど、それぞれの楽しみ方がありました。



木と和紙でしおり作り



薄くスライスされた突き板と手漉き和紙という吉野ならではの素材を使った、しおり作りのワークショップも開催しました。突き板と和紙にスタンプを押して、貼り合わせます。吉野材を使った突き板と楮や杉の皮からできた和紙を合わせることで、吉野の自然の恵みを身近に感じるしおりができました。「この木の色ならこの和紙がいいかな」「こんなに薄い木があるんだ」「やっぱりお父さんも作ろうかな」と小さい子どもから大人まで、豊かな自然の素材に囲まれて、50名以上の方が体験しました。

木のおもちゃの体験

吉野町で生まれた赤ちゃんにプレゼントしているファーストトイや、協力隊が作った木のおもちゃで遊べるスペースでは、子どもたちが楽しく遊び、ゆったりとした時間が流れていました。



☆木の本 100冊は、公民館1階ロビーの本棚に展示してあります。公民館開館時はいつでもご利用頂けますので、ぜひご覧ください。

『本の森』をふりかえって

今回しおり作りや、木のおもちゃにふれることに加えて、「木の本を読む」といった木育のアプローチができました。森を冒険するお話、森に暮らす動物たちのお話、葉っぱの図鑑や木の実で作る工作の本、そして、木に携わる仕事の本…本を開けばこんなにたくさんの「木」とふれあえます。

木の本を手にしたことをきっかけとして、実際に森に出かけたり、木でものづくりをしてみたりと様々につながってほしいと思います。

今後も「木育カフェライブラリー」を町内各地で開催したいと考えています。